

不確実な事業環境に即応する タイムリーな業績予測 への処方箋

- 第1章 **いかに組織的に把握し、回復能力を高めるか**
タイムリーな業績予測に必要な着眼点
- 第2章 **パイプライン情報とプロジェクトの管理が鍵**
情報収集のしくみの整備ポイント
- 第3章 **統計データとパイプライン情報の併用**
仮説検証アプローチによるシナリオ予測の留意点
- 第4章 **OODA ループ実現のために**
予算／業績／キャッシュ・フロー予測の留意点
- 第5章 **SDGs への配慮も重要**
四半期決算とIRへの対応上の留意点

河辺 亮二(米国公認会計士)

コロナ禍という事業環境の激変により、その業績への影響に関して業績予想の公表を控えた企業も少なくなかったようだ。今後も、今回のようなパンデミックに限らず、自然災害等の不測の事態が発生することは十分に考えられる。

本特集では、こうした不確実な経営環境においても、いかにタイムリーに業績(将来)を予測するかについて、情報収集のしくみ整備から戦略実行プロセスの構築まで、多面的に留意点を解説していただいた。